

あすなろ通信 42号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ
事務局 〒728-0006 三次市島敷町 36 番地 7
(TEL 0824-55-6301 FAX 0824-55-6302)

発行日 2020年10月6日

今月のことば

努力が効果をあらわす
までには時間がかかる。
多くの人はそれまでに
飽き、迷い、挫折する。

ヘンリー・フォード
-フォードモーター創業者-

あすなろ塾の現状

二〇二〇年度はあすなろ塾創設十年目の年です。この節目にあたる十年目、コロナウイルスの全国的な感染拡大により、経済活動、社会活動が制約を受ける中、あすなろ塾もその影響を大きく受けた新年度始まりとなりました。四月以降のあすなろ塾の活動を紹介します。

コロナウイルスの感染が全国的に広がる中、緊急事態宣言が発令され、学校は四月十三日から一斉に休校に入りました。その休校は五月一杯継続され、子どもたちはかつて経験したことのない新学期を過ごすことを余儀なくされました。

あすなろ塾でも休講を決定し、塾生には家庭学習の手助けになる課題を急ぎよ配布して、学校から出された課題も含め、できないところや質問があれば連絡するように指示をして対応しました。

三次市におけるクラスター感染もほぼ落ちついた五月十九日に緊急保護者会を開催し、塾の再開、授業の遅れの対策、授業料の減額などについて、あすなろ塾としての考えを示し、保護者の理解を求めました。その結果、塾の再開については、中学校の再開に先行して、五月二十日から再開することとしました。ただし、中学校が再開されるまでは集まることに不安を感じる家庭もあることから、自由参加としました。授業の遅れについては、特に三年生が深刻であると考え、五月二十五日から七月十三日まで、三年生に限り、通常の水曜日・金曜日に加えて月曜日

も英語、数学の授業を行うことにしました。一、二年生については今後の進捗を調整しながら遅れを取り戻す努力をすることを提案し、了解を得たところです。

授業料については、新型コロナウイルス肺炎の感染にともなう経済活動の縮小が保護者の収入に大きな影響を与えているとの判断で、前期の授業料については、全家庭の現在の授業料の半額を免除することとしました。

三年生は当初五人でスタートしましたが、四月に一人、六月に三人が新たに入塾し、九人の三年生が在籍していました。九月末で一人が退塾したため現在は八人となっています。二年生は二人、一年生は一人が在籍しており、合計十一人の塾生が勉強に励んでいます。とはいえコロナ感染が完全に終息したわけでもなく、全員マスク着用、入室時にはアルコール消毒や換気の励行などの感染防止策を怠るわけにはいきません。熱さに苦しみながら夏を乗り切りました。



クリーン作戦の中止

九月六日に予定していた馬洗川クリーン作戦は、大型台風風の接近に伴い、中止しました。多くの方々からの支援に込める活動の一つが地域奉仕活動です。その意義を保護者会等で確認し、今年度も保護者も含めた全員の参加が予定されていましたが、安全確保とコロナ感染防止の観点から中止することを決定しました。今後は、生徒一人ひとりが一生懸命勉強に励み、それぞれの希望する進路を実現することがその支援に込めることになると考えます。

家庭訪問の実施

九月二十六日、二十七日には家庭訪問・三者懇談を実施しました。あすなろ塾では、家庭訪問を大事にしています。塾や学校で見せる子どもの姿と家庭での姿は全く違うことが多くあります。これまでも家庭を訪ねることで子どもたちの塾とは違う表情や姿から課題を見つけ、指導の参考にしてきました。今回も、子どもたちの抱える課題を明らかにすることが出来たと自負しています。

私たちは、これらの活動を通してあすなろ塾の設立精神である「経済格差を教育格差にしない」ことの意義を再確認することができました。

今後とも「自分の進路は自分で切り拓く」ことができるよう、スタッフ一同全力をあげて取り組む所存です。さらなるご理解、ご支援をお願いいたします。

三年生の作文紹介

現在あすなる塾には八人の三年生が在籍しています。コロナ禍のなか、学校が休校になり、三学年の最初の大切な二カ月を奪われてしまいました。

しかし、三年生は受験を控え、コロナ禍に負けたり、プレッシャーに下を向いていることはできません。三年生の書いた作文から、しっかりと前を見据えて歩んでいる姿を読み取ってくださると幸いです。

千里の道も一歩から

三年生 A

僕は、何かをするときには、何でもすぐマスターしたい気持ちがありました。しかし三年生になって気づいた事は、何かをする時には最初の壁を乗り越えたらさらにその次の壁と、どんどん壁を乗り越えなければいけないという事でした。それを今勉強に活かしています。わからない問題は、わかるまでやり、できなかった問題は、できるまでやり続け、少しずつ力を身に付けて来っています。

受験まで五カ月、自分の今まででできなかった問題をしっかりと解き、わかっている問題でも忘れないよう、こまめに復習していききたいと思っています。千里の道に近づくため、新しい一歩を踏み出したいと思います。

私の将来の夢

三年生 B

私は、将来、水族館の飼育員になりたいと思っています。私が水族館の飼育員を目指している理由は動物が大好きで、テレビで水族館の飼育員さんを見て自分もやってみたいと思ったからです。飼育員になるためには様々な資格が必要です。だから高校を卒業したら専門学校へ進学したいと目標にしています。

この目標を達成するために、大学進学に強いA高校へ行きたいと思いました。しかし、二年生の通知票渡しの時に「このままの成績だと志望校を変更しないといけない。」と先生に言われました。このことをきっかけに三年生から塾に行き始めました。最初は塾に行っても変わらなかったらどうしようと思っていました。しかし、実際塾に行ってみると苦手な教科であった数学も少しずつ分かる所が増えていきました。これから私は、苦手な教科を克服しつつ将来水族館の飼育員になれるように日々頑張っていきます。

私の将来の夢

三年生 C

私の将来の夢は助産師になることです。物心がつき始めた頃から小さい子供が好きで、赤ちゃんや子供にかかわる仕事がしたいと思っていました。そんな時に、幼なじみの友だちのおばあ

さんが助産師をしているという話を聞きました。話を聞いていくうちに、私も彼女のような人になりたいと強く思うようになりました。

私の身近な友達に、小さな兄弟がいる人がいました。よく一緒に遊んだりしていくうちに、本当に助産師になりたいと思いました。

それから、学校の図書室で助産師についての本を読んだり、どうやったら助産師になれるのかを沢山調べました。助産師になるには看護師国家試験、助産師国家試験の二つの資格を取らなければなりません。そのためには沢山勉強をしなければならなので今のうちから、やれる勉強はしっかりと決めて、テストの点はしっかりと取ろうと決めて、私は中学校の勉強をがんばっています。分からない所があればすぐ先生に聞いたりしました。

六月になって私は塾に入りました。今のままでは成績が低下すると考えたからです。塾に入ってから、塾で学んでいる教科の点がかなり上がりました。私の苦手だった数学も塾に入ってから得意教科になりました。塾の先生方にとっても感謝しています。学校の授業でも毎時間集中して勉強をするように努力しています。助産師になるには、どの教科もとても大切なので、これからも助産師になる夢を諦めず、日々勉強を頑張っていきたいです。

高校受験に向けて

三年生 D

私は、小さいころに母に連れて行ってもらったイタリアレストランで食べた料理がとてもおいしくて私もいろんな人に美味しい料理を食べて幸せになつてほしいと思いました。

このことがきっかけとなって、高校を選ぶときは、料理や栄養学について学んだり資格が取れることを基本としました。

中学校に入って吹奏楽部に入って練習に集中していて勉強の時間が充分には取ることができませんでした。十月に引退することになっていますが、引退してからは勉強の時間を増やしていきたいと思っています。

私の志望する高校は、志望する人が多くそのためにたくさん勉強する必要があります。

私は、来年の四月から高校生になるために中学三年生から塾に通い始めました。塾に通い始めてからは、授業でわからなかった問題もわかるようになってきました。塾だけでなく学校や家でも勉強をして高校に入学したら、専門的な勉強をしながら、楽しい高校生活を送りたいと思っています。

私の心境

三年生 E

私は三年生の六月頃に塾に入りました。このままだと高校に入れるか心

配だったからです。

しかし、一、二年生の時は授業をまともに受けず、寝てばかりいました。その時いた先輩方に、「今のうちからちゃんと授業を受けといた方がいいよ。後悔するよ。」と言われていたのに、先輩からのアドバイスを無視し、何も変わらないまま三年生になりました。そして、何気ない日常が送れると思っていたのに、四月になり、新型コロナウイルスの影響により、約二カ月学校に行けず、まともに勉強することができませんでした。

さすがに焦りがでてきて、母に私の想いを打ち明けました。シングルマザーである母に塾に入りたいというのは、少し抵抗があったけど、母は「入ってもいいよ。頑張りんさい。」と言ってくれました。私は嬉しかったけれど、お金のことが心配になり、母に聞いてみました。そうしたら、「シングルならそんなにお金がかからない所がある。」と言われました。そこがNPO法人でやっている私が今通っているここ「あすなろ」でした。

そして、塾に通うようになり、苦手だった数学と英語が少しずつ変わってきていることを実感することができました。そこからは学校の授業も楽しくなり、学ぶことの大切さ、面白さを知ることができました。私は社会と理科も受けているので、眠くなったり、

しんどくなることも正直言うところあります。しかし、塾のみんなや先生と笑っているのが、授業を受けることができているので、通い続けることができています。

今となつては、昔、先輩方が言ってくれたように、「ちゃんと授業受けた方がいいよ、後悔するよ。」と先輩たちに言うようになりました。私も今になつて後悔したけれど、塾で遅れを取り戻せるように頑張っています。塾に入ってくれた母や先生方にはとても感謝しています。これからも勉強を頑張り、塾のみんなで志望校に受かるように頑張っていきたいと思っています。

高校受験に向けてがんばること

三年生 F

僕が高校受験に向けてがんばりたいと思っていることが二つあります。

一つ目は塾の先生が話していた学校の授業を大切にすることです。僕は一つ一つのどの教科も真面目に取り組み、その授業で学んだ事を家でも復習することはもちろん、予習も大切にしていると思います。

二つ目は一年生、二年生での勉強の復習を大切にしようと思います。高校受験では一年生、二年生の内容も出てくるからです。そのため特に僕が苦手だという所を中心に復習していこうと思います。

そして僕がこのあすなろ塾に入って良かったと思えるような高校受験にしたいと思っています。そのためこの高校受験で合格できるようにがんばりたいと思います。また僕が入りたいと思っている高校に入ることが出来たら僕が今ある薬剤師になるという将来の夢に向かつてがんばって行こうと思います。

私の将来に向けて

三年生 G

私は将来、保育士か介護士になりたいと思っています。

そのためにコロナで休校の中、将来のために今から学べることは何かを調べました。そこで、ある程度の学力とコミュニケーション能力が必要だと分かりました。

だから、高校の近くにある小学校で訪問学習できる「C高等学校」を志望校に決めました。入学試験で合格できるように、苦手の数学と得意ではない英語を学ぶために塾に入りました。基本的なことをしっかり学んで、応用問題が出てきても、ちゃんと解けるように復習もしっかりしていきたいと思っています。

部活も引退をして、今までよりも勉強に集中できる時間も一、二時間ぐらい増えたので、これからは今までできなかった分の勉強をしっかりしていきたいと思っています。

面接の練習

三年生 H

私は将来、歯科衛生士になりたいと思っています。今、学校では、面接に向けての練習をやっていますが、将来の夢について考える時間が増えてきました。私は、面接の練習が始まるまで、将来の夢が決まっていまませんでした。

しかし、面接の練習が始まったことで学校の先生に、将来の夢を決めさせられました。とても嫌でした。スポーツインストラクター、保育士、カメラマンなどとすぐに夢が変わっていました。なかなか決められませんでした。

とりあえず、面接で通用するように、歯科衛生士になりたいという事にしていました。面接の練習では、「なぜ歯科衛生士になりたいのですか。」と問われます。それに対して私は「歯科医さんのサポートをしてあげたいから」だと答えていました。それは、本当のことを言っているとは言えませんでした。

しかし、最近では本当に歯科衛生士になりたいと思うようになってきました。今日、歯科検診がありました。そして、歯科衛生士さんと、歯科医さんが協力して検診しているのを見て、すごくあこがれました。

私は、歯科衛生士になるために、A高校に入学しようと思っています。そのため、これからは受験勉強に取り組んで行こうと思います。

コロナの渦中に思う

影山 克典

確か四月だったと思う。コロナ禍の中、学生（大学生等）のアルバイト先がなくなり、経済的理由で学生生活を続けられない生徒がいるというニュースに触れた。このとき私は、日本社会には大学等の授業料、奨学金制度の問題等、早急に改善すべき問題がたくさんあることを改めて感じたが、そのことに加え、あることに關しての展望のなさを痛感した。

私は現在塾の講師をしているが、日本の教育と受験体制に関する一つの考えを持っている。それはもともと受験競争は緩和されるべきだし、小中高でやる教育内容をもっと少なくし（私はかつての「ゆとり教育」を支持する）、大学や専門学校での勉強内容をもっと充実させるべきだとの考えである。高校や大学はもともと入りやすくし、同時に、勉強しないと卒業できなくすべしだと考えている。小中高では教科学力（学問）とはかけ離れた受験テクニックの取得などに労力を割かず、基礎的な教科学力の充実をめざすべきだと考える。そして大学ではしっかり学問的探求を深めていける態勢をつくるべきである。今の学生の場合（だけではないが）、勉強、アルバイト、遊びのバランスが、勉強以外に偏りすぎていると思う。大学生の年頃こそもっと自由にもっと勉強をすべきである。

私はこのような社会の実現を願ってきたが、先に述べたニュースに触れるとき、改めて、日本の社会は学生のアルバイト（低賃金労働者）なしでは経済活動が成り立たなくなっているのだと思ってしまう。

このままでいいのだろうか。

ゆとり教育の否定で大手受験産業（塾もその末端といえるが）は隆盛を極め（共通テストへの進出には少し失敗したようだが）、子どもたちの管理は徹底したような気がするが、失いつつあるものがあまりに多いのではないだろうか。その中味については紙面の都合上ここでは論じないが、あげれば枚挙にいとまがない。

子どもたちの成長を期し、できるだけ多くの食物を摂らせようとしても、料理を工夫（授業の工夫等）し、よりおいしくたくさん食べられるようにしても、食べさせようとすると量が多すぎると、かえって体調を崩すことにもなる。要はどの年代で、どのようなものを、どのくらいの量食べさせるのが問題となる。受験産業の大手を潤し、低賃金労働者の需要に応えるために大学教育の充実を放棄し、小中高の教育を窮屈なものにすることで子どもたちの成長を疎外する世の中のしくみは、どのように考えてもおかしい。

私たち「あすなろ塾」では「経済格差を教育格差にしない」を合い言葉に活動を続けているが、今の社会体制では生徒本人の努力だけで格差の撤廃は難しい。小さい頃より教育にお金をかけなければ価値の高い高学歴が得られず、やっと大学に行っても低賃金労働

者の役割を担わされるのではむなし。せめて本人が努力すれば、まわりのサポートが充実すれば、格差の撤廃が実現できる世の中になってほしい。そして勉強のおもしろさももっと味わってもらいたい。

そのための課題の膨大さと困難さのため息も漏れるが、諦めず、できることからやり続けていきたい。ぼちぼち頑張ろうと思う。

ご支援していただいている企業・団体

- ・ ミヨシ電子株式会社
（三次市東酒屋町）
- ・ ㈱三次衛生工業社
（三次市四拾貫町）

ご支援にいただいた皆様

- ・ 加笠一字（三次市十日市南）
- ・ 木倉敬之（東京都東久留米市）
- ・ 瀬川順子（三次市三良坂町）
- ・ 半田孝江（三次市三良坂町）
- ・ 匿名（三次市三良坂町）
- ・ 匿名（三次市十日市南）
- ・ 匿名（三次市南畑敷町）
- ・ 匿名（庄原市）
- ・ 匿名（三次市栗屋町）
- ・ 匿名（三次市十日市東）



2020年度 塾 生 募 集 あすなろ中学部

- 少人数&個別指導で学べます。
- コースは2種類。
 - ◇英数コース（週2回）
月14,000円
 - ◇理社コース（週1回）
月6,000円
- 授業料減免措置があります。
 - ◇ひとり親家庭は半額免除

- 入塾受付
- 期間 随時（ただし、火・水・金曜日）
- 時間 16:30~18:00
- 場所 あすなろ塾
- 電話でも受け付けます。
Tel 0824-55-6301
- ★3年生は定員となりました。

- ◇生活保護家庭は英数コース 月2,000円、理社コース 月1,000円
- あすなろ塾は授業料以外の経費（テキスト、模擬試験、夏季講座等）は徴収いたしません。